

<図書委員オススメ本セレクション> Vol. 3

『謎解きはディナーのあとで』 東川篤哉

大手グループ企業のお嬢様で新米刑事である宝生麗子。そんな彼女が数多くの難事件に挑み解決するはずだった…。しかし全く解決できず的外れな推理をする。事の成り行きで遂には、執事兼運転手の影山に事件について相談することになる。「お嬢様の目は節穴でございますか？」と暴言すれすれの毒舌をはきつつ、たちはだかる難事件を次々と解決していく物語である。

3年男子

『予知夢』 東野圭吾

この本は私が推理小説の沼の深みにはまった本の1つです。まず私は、各章の題名から興味をそそられました。第一章「夢見る」と書いて「ゆめみる」、第二章「霊視る」と書いて「みえる」など、どんな話なのかとてもワクワクしました。そして、毎回の事件は単なる事件ではなく、そのトリックを見破るのもとてもおもしろいです。みなさんもぜひ、東野トリックに挑戦してみてください！

1年女子

『ボッコちゃん』 星新一

この本は1つの話が短い本で、50編あります。話の内容はさまざまな種類があります。この本の特徴は話の終わりがはっきりと書いていないため、自分で考えることができるころだと思います。是非1度この本を手にとってみてください。

1年男子

『「自分の壁」を超える授業』 生田幸士

その他大勢から突き抜ける方法とは何なのか？成功するためにはどうすれば良いのか？などこの本には人生をうまく運んでいくための考え方が書かれています。今、何かしらの壁にぶつかり悩んでいる人や、新しいことに挑戦しようと考えている人はぜひ読んでみてください。

2年女子

『僕の小規模な奇跡』 入間人間

とある兄妹が中心となって話が進む青春群像劇で、普通に読んで十分楽しめますが、細かい描写に気をつけながら読んでいくと途中で違和感に気づきます。ミステリーという程ではありませんが、見事に視点をずらされていて、してやられた！という面白さがあります。入間人間さんの作品には、いつも気づくと楽しい小ネタが沢山仕込まれているので、是非色々探しながら読んでみてください。

3年女子

『タカラヅカの解剖図鑑』 中本千晶

みなさんは宝塚歌劇団を知っていますか。私は母の影響で何度か見に行ったことがあります。その迫力というのは素晴らしいものです。激しいダンスを踊りながらも決してブレない力強い生歌を披露してくれます。この本はそんな“タカラヅカ”について何も知らない人でも楽しく知ることができると思います。是非読んでみてください。

2年女子

『パプリカ』 筒井康隆

精神医学研究所に勤める千葉敦子はノーベル賞級の研究者、サイコセラピスト。だが彼女にはもうひとつ秘密の顔があった。他人の夢とシンクロして無意識界に侵入する夢探偵パプリカ。強力な最新型精神医療テクノロジーや「DCミニ」をめぐる争奪戦が刻一刻とテンションを増し、現実と夢が交錯した瞬間、物語世界は驚愕の未体験ゾーンに突入する。

2年男子

『玉依姫』 阿部智里

都内で祖母と二人暮らしをする高校生の葛野志帆は、突然現れた伯父・修一に誘われ、母の故郷山内村を訪れる。その村では昔から繁栄のために山神に生贄を捧げる習わしがあった。志帆は無理やり生贄として山神に送られ、そこで本当の山神の姿を知っていく。

3年女子